

病院のお仕事いろいろ

患者さんにとって
よりよいものを
作るために



医療技術部
歯科医療技術部門
歯科技工士
大山 正弘
(おおやま まさひろ)

患者さんの歯のかぶせ物や入れ歯・インプラントなどの口腔内装置の製作することが歯科技工士の主な業務ですが、これらの業務に加えて、大学病院では、歯とその周辺組織を広範囲で失うなど、重度の疾患を抱えられている方もいらっしゃり、その患者さんの口の機能の回復や見た目を回復させる口腔内装置を製作しています。また周術期において、手術を行う部位の診断やシミュレーションが行えるよう3D(立体)模型を製作したり、全身麻酔の手術時の気管挿管による、歯の破損を防ぐためのマウスプロテクターを製作しています。

患者さんの口腔内は一人ひとり異なるため、機能や形態、使用する材料を考えたり、色を合わせたりといった難しさはありますが、患者さんや担当の歯科医師の声を反映させながら試行錯誤を重ね、完成させた装置が、口の中でしっかり機能し、見た目も改善することで、患者さんの満足が得られ、喜びの声を聞く

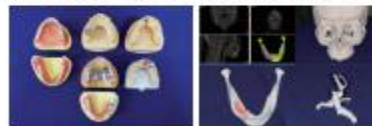
と、とても嬉しくなり、やりがいを感じます。

ここ最近では、急速にデジタル化が進み、パソコンや加工機器を用いて、これまで扱え

なかった材料を使用し、高精度な口腔内装置を製作出来るようになってきました。そのような日進月歩する歯科医療の変化に伴い、新しい技術の導入や学術的な知識を取り入れるため、学会やセミナーの参加を通して、より質の高い口腔内装置が患者さんに提供できるよう努力していきたいと大山さんは話してくれました。



歯科技工士集合写真



歯科技工士によって製作された装置

3D(立体)模型